



進もう、豊かな畜産の未来へ

公益社団法人

中央畜産会

JAPAN LIVESTOCK
INDUSTRY ASSOCIATION



公益社団法人中央畜産会

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-16-2 第2ディーアイシービル9F

Tel: 03(6206)0840(代) Fax: 03(5289)0890

<http://jlia.lin.gr.jp>



RECRUITMENT INFORMATION



公益社団法人 中央畜産会
会長 森 山 裕 弘

中央畜産会は都道府県畜産会とともに、畜産に関する技術及び経営指導の中心的な組織として、昭和30年12月に設立され、以後日本の畜産の振興・発展のために歩んできました。

昭和30年当時は、乳用牛42万頭、肉用牛(役畜を含む)263万頭、豚82万頭、採卵鶏4,571万羽でしたが、令和3年には乳用牛135万頭、肉用牛260万頭、豚929万頭、採卵鶏18,091万羽と大幅に増加し、国民の食生活をしっかりと支える産業となりました。

この間、我が国の畜産は取り巻く状況が大きく変化し、オイルショック、プラザ合意、バブル景気、リーマンショックなどの経済変動、牛肉輸入自由化、TPP参加、FTP・EPA締結などの国際化の深化、BSEや口蹄疫等の家畜疾病の発生、東日本大震災等の自然災害など、幾多の困難を乗り越えてきました。

このような中、中央畜産会は畜産経営の診断手法の開発と指導員の育成を行い、都道府県畜産会では官民一体となった指導員による農家の巡回指導を実施し、他の農業分野にはみられない画期的な指導体制を構築しました。この体制は、現在まで引き継がれ、畜産経営の安定化に努めています。また、コンピュータを導入した経営診断手法を開発したことで、より高度な分析結果を畜産経営者の皆様に提供することができました。

さらに、インターネットを活用した情報発信にいち早く取り組むとともに、経営に必要な資金調達や低利の借換資金の融通などにも取り組んできました。

近年、経営指導と衛生指導を一体化し、広範な業務を着実に進めるとともに、畜産経営の生産力や体質強化を図るために畜産施設や先進的畜産機械の導入を支援しています。我が国の畜産が進化する中、中央畜産会もその時代に必要な業務を柔軟に行い、畜産経営者の皆様にに対し貢献することが、私どもの責務であると考えます。これからも、豊かな畜産の未来のために、私たち中央畜産会はさらなる発展を目指して進んでまいります。

中央畜産会のあゆみ —HISTORY

昭和30年12月
社団法人中央畜産会設立

昭和39年
畜産コンサルタント事業を開始

昭和57年
畜産経営支援のためのコンピュータシステム運用開始

昭和40年
月刊誌
「畜産コンサルタント」創刊



昭和61年
経営発表会
(全国優良畜産経営管理技術発表会)
開催開始



平成16年 日本畜産施設機械協会を合併、
畜産施設機械メーカとの新たなパイプ

どんな仕事をするところ？

そもそも、公益社団法人ってなんですか？



利益追求ではなく、公益事業を主な目的として活動している法人です。

中央畜産会は何をしているところですか？



日本の畜産業において、国などが実施しようとしている主な施策を実現化しているところです。詳しくは右の業務内容をご覧ください。

どんな人と仕事をしていますか？



農林水産省・全国の畜産会、畜産協会をはじめとする畜産関係団体など、日本の畜産に関連する多くの人と仕事をしています。

どんな人を求めていますか？



多くの人と関わることからコミュニケーションスキルは必須だと考えます。畜産知識については、入会後に職員研修等で学ぶ機会があるため安心してください。

育てる 畜産経営者や指導者の育成

- 畜産経営者や指導者を対象としたスキルアップのための研修会を開催
- 総括畜産コンサルタント、農場HACCP審査員の資格付与、農場HACCP認証
- 後継者の育成や新規就農者の参入促進、地域の中核的な担い手育成のための研修会
- 高校生を対象にした、獣医師養成のための修学資金の給付



支える 畜産経営の支援

- 経営診断の手法づくりとマニュアルの作成
- 全国の畜産経営の実態調査と経営指標づくり
- 畜産経営の規模拡大、省力化・機械化を支える畜産施設・機械導入の支援
- 経営に必要な資金調達や低利の借換資金の融通による経営改善支援
- 家畜伝染病発生時の経営再開支援や甚大な自然災害からの復興支援



守る 家畜防疫の推進

- 地域一丸となった家畜防疫活動の推進
- 家畜伝染病に備えた防疫演習の実施
- 家畜に対するワクチン接種の推進や重大な家畜伝染病対応のためのワクチン備蓄
- 家畜衛生向上のための各種支援



広める 畜産に関する情報発信

- 優れた畜産経営の表彰・成果の普及
- 出版物やインターネットによる最新の畜産技術や畜産経営の紹介
- 畜産をわかりやすく紹介する映像の制作
- 国産畜産物の国内外へのPR活動



平成21年

全国家畜畜産物衛生指導協会を合併、経営技術指導と衛生指導の一体化を実現



平成23年
農場HACCP
(危害要因分析・必須管理点)認証機関として認証



平成26年
日本畜産物輸出促進協議会設立、協議会メンバーとして畜産物輸出関連事業に着手



令和2年
リモート会議の導入

平成25年 社団法人から公益社団法人に法人移行

平成28年 TPP対策関連事業(畜産クラスター事業等)開始

新人職員インタビュー —INTERVIEW—



Kさん 令和3年4月入会
動物応用科学科修了

◆主な業務

管理部に所属し、農業高校や農業大学の教職員のみなさんを対象に研修の支援を行う事業や各種調査事業などを担当しています。研修に使う資料作成や会議開催など、運営や企画立案に取り組んでいます。

◆入会して感じたこと

畜産に関係する基本的な知識習得を目的とした職員研修をはじめ、入会してから今までに多くの学ぶ機会があり、実務に関連する知識が蓄えられていったと思います。また1年目から様々な仕事に携われる環境が整っているため、意欲があれば多くの業務にチャレンジできることも魅力です。

◆志望理由

大学では動物応用科学を専攻し、将来は畜産業全体の振興に繋がる仕事がしたいと漠然と考えていました。営利目的が先行しない仕事が良いと思っていたところ、当時の所属研究室の教授の勧めもあり中央畜産会を志望しました。転勤がなく腰を据えて長く仕事が続けられるといった環境も決め手となりました。

◆就活中のみなさまへ

時間をかけて自分を見つめ直す機会となるのが就職活動だと思います。本音と建前が共存するなかで、自分を偽ることなくやりたい仕事を見つけることが、なりたいた姿に繋がると思います。なにより意欲が重視される職場です。自分の意見を持ち、何事にも前向きに取り組む姿勢をもって中央畜産会を選んでいただければと思います。

FRESH
MAN!

新人職員に聞く、成長を実感できたとき

総務でシステム関係の仕事をしていました。入会してすぐにWEB会議の準備に携わりましたが、Zoomどころかカメラの三脚を上げることも経験がありませんでした。それから何度も設営の機会があり、その都度にご指導いただいたおかげで、半年以上が経過した現在にはひとりでもWEB会議の準備がスムーズにできるようになりました。日々の仕事をするなかで、パソコンの詳しい操作やインターネット関係において知識不足を実感していますが、システム関係のトラブルや疑問に応えられるよう、今後も学びを重ねていきたいと考えています。(Sさん)



Sさん 令和3年4月入会
総合ビジネス科卒業

Hさん 令和3年4月入会
食品資源経済学科卒業

入会当初より体力や気力がついてきたように思います。現在、経営支援部に所属し、全国の畜産協会の方々と一緒に畜産経営の支援や調査業務を担当しています。これまで書類上等で見聞きた機械や方法等の名称が現地調査に行くことで実感を伴ったときに、仕事の面白さを実感し、業務の内容や畜産についてより理解が深まったと思います。現地に行った際には、必ず質問をするようにしています。分からないことはうやむやにせず、なるべくその場で解決することを心がけています。(Hさん)

先輩職員インタビュー —INTERVIEW—



Hさん 平成28年4月入会
食料資源経済学科卒業

◆主な業務

現在担当している主な業務は2つです。1つは全国の酪農、肉用牛経営を対象にした、経営及び技術成績の実態調査です。調査結果を所得や飼養規模別に集計し、畜産関係者に情報提供しています。2つ目は、全国優良畜産経営管理技術発表会です。この発表会では、経営及び管理技術で優秀な成績を収めている全国の畜産経営の中から、特に優秀な経営を選抜し、表彰を行っています。受賞者の中には、農林水産祭で天皇杯を受賞した事例もあります。

◆畜産のことをどう学んでいるか

毎週水曜日に若手職員を対象とした職員研修が行われているので、主に研修の中で畜産の基礎を学んでいます。

◆職場環境

本会には行政機関や畜産関係団体等で経験を積まれたOBが多く在籍しており、仕事の中でわからないことがあっても、ベテラン職員がサポートしてくれるので安心して働ける職場であると感じています。

◆就活中のみなさまへ

本会には、大学時代に必ずしも畜産を専攻していた方だけが在籍しているわけではありません。私自身、大学生のときには農業経済を専攻しており、畜産の知識はほとんどありませんでしたが、研修も充実しているので、これから畜産を学びたいという意欲がある方は、現在の専攻分野にとらわれず是非チャレンジしてみてください。

「全国優良畜産経営管理技術発表会」開催スケジュール

この発表会は、優れた畜産経営等を表彰し、その成果を広く紹介することで、国内の畜産経営の経営改善に資することを目的に毎年開催しています。発表会の受賞者の中から、これまで天皇杯や内閣総理大臣賞等、名誉ある賞に数多く選出されています。



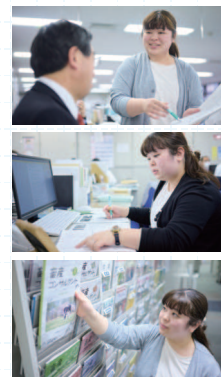
5月	事例の推薦
6月	書類審査
7月	第1回審査委員会
8月	現地調査
9月	第2回審査委員会
10月	全国優良畜産経営管理技術発表会
11月	



こんなこともやっているよ中央畜産会

月刊「畜産コンサルタント」刊行スケジュール

国内唯一の畜産総合専門誌として、生産者や畜産関係団体の方々に役立つ畜産のタイムリーな情報を毎月発信しています！



- 5~4カ月前 ● **事例の推薦**
①スケジュール確認 ②企画趣旨の検討 ③情報収集 ④企画書作成
⑤執筆候補者選定 ⑥編集会議資料作成
- 4~3カ月前 ● **企画会議**
⑦編集会議(1) ⑧議事内容再確認/企画書の再考・修正
⑨編集会議(2)/原稿依頼先の最終決定
- 3~2カ月前 ● **原稿執筆依頼**
⑩原稿執筆依頼文の作成 ⑪原稿執筆依頼(電話やメール) ⑫執筆依頼の確認
- 2~1カ月前 ● **編集・校正・著者校正等**
⑬原稿受け取り ⑭原稿を読み込み・校正作業
⑮印刷業者に原稿データを入稿 ⑯印刷原稿校正(1)
⑰著者校正の依頼 ⑱印刷原稿校正(2)
⑲ページの割り振りの検討
⑳校了・印刷へ
- 完成

ここが面白い！

- ・自分の持っている知識(畜産以外もOK!)を活用できる。
- ・新しいモノを生み出す力が身につく。
- ・さまざまな人とのつながりができる。

ここが難しい…

- ・読者のニーズに合った記事とは何かを常に考えなければならない。
- ・特集に合った情報の収集力が求められる。

研修について

入会してすぐ

- ・ビジネスマナー研修
- ・コミュニケーション研修
- ・新任基礎研修(基礎編)



中央畜産会および46道府県の畜産会に入会した新任役職員を対象に、今後の活動に必要な基礎的な知見などを学びます。

- ・職員研修(週1)
- 新任職員を対象に畜産に関連する基礎知識の習得を目的とし、今後実務で必要となる周辺知識の付与を行います。

…等

2年目以降

・職員研修(週1)

各種統計データを参考にした経営分析や実態調査結果から見える要因分析など、畜産経営分析のノウハウを学びます。

・経営指導従事者研修

新入者層(2年目以降10年目以内)を対象に、円滑な経営支援業務を行うためのロジック等を盛り込んだ実践研修を行います。

・海外畜産事情研修(基礎編・実践編)

EUにおける畜産経営に対する支援指導活動の実態や方法等について、海外派遣を通して知見を広げます。(昨年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、リモートにて現地レポート等を実施)

…等

職場環境 —WORKING ENVIRONMENT

どんな環境で働くの？

転勤はありますか？

事務所は一所だけなので、転勤はありません。

厚生生活はどういったものがありますか？

年次有給休暇は入会初年度から20日付与され、未消化分は繰り越しが可能です。また年2回の健康診断に加え、歯科検診や常備薬の無償配布など職員の健康管理を支援しています。

職員同士の交流はありますか？

親睦会で様々な活動を行っております。
詳しくは右をご覧ください。

実際にどういった人が働いているのでしょうか？

「データで見る職員」にアンケート結果などのデータをまとめましたので、ご覧ください。

親睦会で様々な活動を行っています。
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止から活動は縮小。例年の主な活動は次のとおりです。

○職員歓迎会

○食事会

年に数回、すき焼き弁当など少しリッチなお弁当を配送してもらい、みんなで楽しんでいます。



○地方競馬観戦会

中央畜産会は地方競馬を応援していることから、年間2～3回大井、川崎、浦和、船橋の競馬場に行き競馬を楽しみます。

○家族に感謝企画

私たちが安心して仕事をできるのも家族の協力があるからこそ。日頃の感謝の気持ちを込めて畜産物をご家庭にお届けします。



先輩職員に聞く、職場環境

◆ワークライフバランス

令和元年に職場内結婚し、今年3月に子供が生まれました。また入会して8年が経ち、後輩も入ったことで責任ある仕事を任せられるようになり、ワークライフバランスの重要性を感じています。幸い周りの方の支えもあり、出産の立会や子供の定期健診のための休暇を取ることもできました。また、妻も産休や育休を取得しています。毎週水曜日の定時退社日には、子供が寝る前に帰宅することができています。

◆就活中のみなさまへ

社会人になると幅広い年齢層、バックグラウンドの異なる方々と仕事をする機会が多くなります。学生のうちから、広い視野をもって、多様な経験をして、異分野・異年齢の友人等との関わり合いをもち、コミュニケーション力を高めることは大事です。仕事以外でも切磋琢磨できる環境を作ることで、公私ともに充実させることができます。残り少ない学生生活を謳歌してください。

女性管理職インタビュー —INTERVIEW

◆主な業務

経理部門を担当しています。本会は公益法人として補助金を扱っており、経費の収入・支出の管理のほか、日々の進捗管理を担当者と連携を取りながら行っています。

◆就活生のみなさまへ

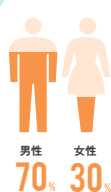
現在就職活動に励まれている皆様も、高校や大学など岐路に立ったときはオープンキャンパスに行かれたり、先輩から話を聞いたりされたことと思います。今はネットで調べることが主流になっていますが、かえって多くの情報で迷うことがあるかもしれません。いずれの場合にしても、たくさん悩んでください。そして、疑問に思ったことは言葉に発して確認してみてください。視野を広げて多くを見ることで開かれた道を皆様に歩んでいただければと思います。

◆ワークライフバランス(キャリア形成)

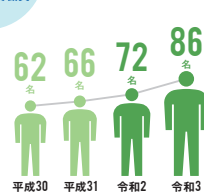
入会してから、2回育児休暇を取得しています。2人の子供を育てながら仕事を続けることは大変なことも多かったですが、周りのサポートもあり今となっては良い経験が出来たと思います。先日、畜産会役員功績者表彰を受けました。入会して30年余り、責任ある立場となって試行錯誤の毎日ですが、本会には様々な経験を積んだ方がたくさんおり、仕事と育児の両立の上で参考となることごとく多くあります。ライフスタイルにどう生かし、いかに自分のものにしていくか日々奮闘しています。

データで見る職員 —PARSONAL PROFILE

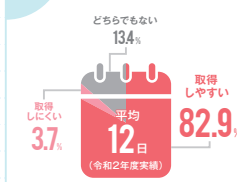
男女比



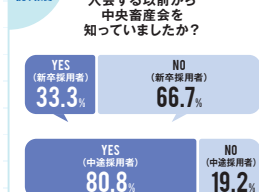
役職員



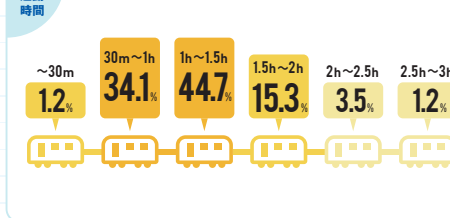
有給休暇



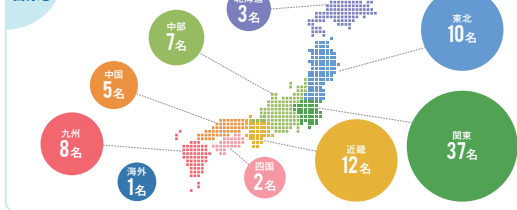
認知度



通勤時間



出身地



データで見る中央畜産会 —COMPANY PROFILE

育てる



育てる



育てる



育てる



支える



支える



守る



広める



広める



広める



広める



広める

